

東北支部春季学術大会シンポジウム 診療放射線領域における医療安全と診療放射線技師の役割

国立病院機構宮城病院 立石 敏樹(Tateishi Toshiki)
新潟大学医歯学総合病院 金沢 勉(Kanazawa Tsutomu)

【座長集約】

本年度、日本放射線技術学会東北支部で学術研究班が立ち上がった。そこで、今回、各班の共通部分である医療安全をテーマにシンポジウムを企画し、各研究班の班長から研究班の紹介も兼ねメンバー紹介と各班の医療安全に関する発表を行った。

まず、初めに乳房班班長の東北大学病院の千葉 陽子氏が「乳房撮影における医療安全と技師の役割」というタイトルで講演された。乳房撮影における医療安全として、撮影技術、ペースメーカーや豊胸術への対応、事例として、「圧迫時における意識消失・転倒」を取り上げた。意識消失・転倒については、検査による過度な緊張や精神的要因に期することが多く、声掛けや事前の検査説明により不安を取り除くことが大事であるというような内容であった。会場からも意識消失についての質問が多かった。

次に、DR班班長の東北大学病院の小野寺 崇氏が「一般撮影領域における医療安全～回診撮影時の安全確保と感染対策～」というタイトルで講演された。一般撮影や透視室での医療安全について、患者確認、周辺機器やライン・チューブの確認、感染対策といった部分について取り上げていた。また、東北大学病院では、ライン・チューブ確認の撮影時に、カテ先ガーゼ強調処理画像を出しているということであった。

次に、血管IVR班班長の秋田県立循環器・脳脊髄センターの加藤 守氏が「医療法施行規則一部改正における血管撮影装置の安全管理」というタイトルで講演された。ICRPのPublicationを基に、被ばく・防護や管理について解説いただいた。診療放射線技師がしっかりやらなければならない部分であり、今後行われる医療法施行規則の一部改正について取り上げていただいた。まだ、詳細がでていないこともあり今後の情報収集が大事である。

次に、治療班班長の東北大学病院の佐藤 清和氏が「放射線治療領域の医療安全～過去のインシデントを振り返る、独立検証の重要性と変遷」というタイトルで講演された。医学物理士の資格認定のきっかけとなった過去のインシデントを振り返り線量評価の必要性について解説いただいた。

次に、MR班班長の新潟大学医歯学総合病院の齋藤 宏明氏が「安全にMRI検査を行うために診療放射線技師ができること～実は吸着事故は増えている」というタイトルで講演された。吸着事故は、インシデント報告が各施設で適切に管理される体制になってから増えているだけでなく、装置の高磁場化や業務量の増加などからも起きていることが報告された。設備業者の関与も増えていることから、医療従事者だけでなく様々な職種にも教育の必要性がある。

次に、CT班班長の秋田県立循環器・脳脊髄センターの大村 知己氏が「CT検査の医療安全におけるトピック～造影剤安全使用に関する最新動向を紹介～」というタイトルで講演された。ESURの造影剤に関する改定の内容について前バージョンとの比較し解説いただいた。最新情報を留意し検査を行っていただきたい。

次に、核医学班班長の東北大学病院の小田桐 逸人氏が「核医学業務における医療安全～過去の事例から学ぶ改善対策～」というタイトルで講演された。こちらも過去の放射性同位元素投与量のインシデントから解説いただいた。ガイドラインや各種手引きなどにしたがって安全な検査を行っていただきたい。

最後に、医療情報班班長のみやぎ県南中核病院の坂野 隆明氏が「安全に画像情報を共有するための画像管理～時刻管理の実際～」というタイトルで、画像情報管理における時刻管理についてと時刻管理のリスクと対策について解説された。撮影装置の時刻確認や時刻同期サーバーの利用、紹介画像の取り込みの際、検査日を書き換えないなどの対策が必要とのことだった。

今回、各研究班より診療放射線領域の医療安全と診療放射線技師の役割という内容でシンポジウムを行った。インシデントは、技術、知識、経験以外にもコミュニケーション不足などから起こることが多く、各モダリティ間で技術や知識の共有も必要である。学会などを通じて各モダリティ間でのインシデントの共有を図ることも重要であり、これからは勉強会において各研究班から技術や知識共有が必要だと報告があった。また、マニュアル等の整備の必要性も報告され、アクシデントが起こった際、「言った言わない」という問題もあり、自分たちの身を守るためにも、技術的なマニュアルだけでなく、検査説明、質問対策等のマニュアル整備も行っていただきたいと感じた。

最後に、医療法の改正もあり、他職種との連携も図り、その中で、診療放射線技師としての医療安全の役割を十分に果たしていただきたい。